

為政における提案

KURODA International Foundation

Takeshi Kuroda

為政は、唯一人々へ施すことである。技術の飛躍は、世界における無限の可能性のドアを拓く。これらは正しい未来の創造なのである。

為政は、その基軸において、自己を有する。それらは学術的な深耕であり、それらは、それにおける現実の構築を可能とする。それら理性は可能性を有するのである。

人道性は必ずその共有性であるから、共有の判断の育成は、これに寄る。これらは外交における正しい基軸である。

その志は、必ず未来を拓くのである。これらは未来の創造を有する。

為政は、国民との対話において与えられ、それらは、新しい現実を与える。開かれた政治は、必ず、その対話において与えられる。

国家の独立性は、国民が未来と生活を有する正しい選択である。そのため自主独立は、政治の使命である。

自らの信念は、必ず政治家に求められる。政治家は、従うことでなく、信念に寄らなくてはいけないのである。

未来の有する可能性の否定することは許容されない。それは常に可能性への挑戦を求められる。